

学校給食センターについて

政津クラブ 森 西 順 次



いじめ問題の対策と効果は

新風会 松本 義 隆



質問→いじめに関連したと思われる不登校児童生徒はどれくらいいるのか。いじめ問題への対策とその効果は。

答弁→生徒間トラブルによる不登校は、指導継続中が小学校全体の〇・一%

弱の五人、中学校が一・〇%弱の二十八人。いじめの早期発見に努める一方、発見後は直ちに生徒指導委員会などで情報交換し実態を把握。いじめられた生徒へのケア、まわりの生徒への指導にあたり、未然防止の意味から、命の大切さ、いじめについて道徳や学校活動の時間に指導している。「いじめは人間として絶対に許されない」との意識を学校教育全体を通じて児童生徒一人一人に徹底していく。調査によると六十六件のいじめについて五十一件が解消したと報告を受け、効果が現れていると思う。

現在各小学校で対応している給食を（同センターで作る）小学校給食のセンター化では、どこの学校を想定しているのか。

質問→学校給食センターは、九月議会で二〇〇七年度三学期から使用開始と答弁していたが、変更はないか。（旧市内の五中学校に対応するほか、

答弁

→給食センターの使用開始は、各学校の受け入れ施設の整備や準備などを夏休み中に行うのが合理的と判断し、二〇〇八年度二学期から実施したい。小学校給食のセンター化は、老朽化で改修が急務のものや増改築の必要があるもの、配達効率などを総合的に判断し、東小、西小、北小、鶴山小、弥生小、一宮小、高田小の七小学校を考えている。

小中学校の内装木質化の取り組みは

公明党津山市議団 岡安 謙典



まちづくりについて

津山新星会議 近藤吉一郎



質問→コンパクトシティの考え方を進めることを目標に取り組み権利関係者の代表からなる「地元まちづくり組織」を発足させた地元の推進体制を整える予定。

質問→障害者自立支援法に対して負担の軽減等の見直しを国に要望しては。

答弁→今後、産業経済部、都市建設部を中心いて計画が策定され事業が具現化

されています。今後も可能な限り国産材の使用に努めたい。

質問

→「子供の生活リズム」の実態調査の結果と今後の取り組みは。

質問

→テレビ視聴時間が三時間を越す小学生が三十九・一%、中学生が三十・一%といずれも全国平均を十ポイント以上、上回っている。朝食摂取率は八十七・六%で十%以上の子供が毎日摂取していない。テレビとゲームをする時間が長いことも朝食摂取に関連している。園、学校での指導、パンフレットを活用しての啓発活動を進める。

する時点で全序的な取り組みが必要な機関については検討したい。

質問→津山駅周辺地区の整備事業は、どのような組織、体制、スケジュールで実施するのか。

質問→本年度からは権利関係者のまちづくり計画に参加する同意率を概ね百%とすることを目標に取り組み権利関係者の代表からなる「地元まちづくり組織」を発足させた地元の推進体制を整える予定。

質問→障害者自立支援法に対する負担の軽減等の見直しを国に要望しては。

答弁→市長会等を通じて国に要望する。

◎ 議員や後援会が有料のあいさつ広告を出すと処罰されます。